

# 郡上南部地域医療機能統合構想

2024年11月

郡 上 市

## <目次>

1. 計画策定の経緯	2
2. 郡上市の現状と課題	
1) 人口動態	3
2) 患者の動態	5
3) 医療機関	
① 医療機関の状況	6
② 医療スタッフの状況	6
4) 郡上市南部地域の現状と課題	
①人口動態	7
②医療機関の状況	8
3. 郡上南部地域の医療再編	
1) 背景	10
2) 両院の概要と課題	10
3) 課題解決の方向性	12
4) 機能統合に向けて	
①病床機能の統合	12
②病床機能再編支援事業の採択	13
③重点支援区域の選定	14
④経営の改善	15
5) ロードマップ	15

## 1. 計画策定の経緯

岐阜県民の誰もがニーズに見合った医療・介護サービスを受けることができる体制の整備は、安心して地域で暮らし、社会・経済活動を営む上での基盤となるものです。しかし、急速に少子高齢化が進行し、2025年にはいわゆる団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となることから、医療・介護需要のさらなる増加が見込まれる一方、高齢者を支える世代となる15～64歳の生産年齢人口は減少を続けるため、県民が将来にわたって持続的に適切な医療・介護を受けられるようにするためには、限りある地域の資源を効率的かつ効果的に活用していく必要があります。

こうした中、2014年6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が制定されたことから、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じて、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進することを目的とした「岐阜県の地域医療構想」が策定されました。

地域医療構想の区域は人口規模や面積、患者の受療動向や医療提供体制等の状況を踏まえ、二次医療圏と同一の5医療圏に分類され、郡上地域は中濃医療圏に位置しています。

中濃圏域における郡上市民病院の役割分担としては、「郡上市民病院が郡上地域の急性期医療の中心的役割を担います。なお、郡上地域の急性期医療については、状況に応じて中濃厚生病院も担います。」とされています。

このような構想が示される中、新型コロナウイルスにより、外来の受診形態の変化、入院患者の病態変化等により外来患者数、入院患者数の減少による経営状況への影響、医療スタッフ確保の課題、施設設備の老朽化が問題視されるようになってきました。このままでは、地域医療構想における郡上市民病院の役割を担うことができなくなる恐れもあることから、郡上南部地域の医療の再生を目的として郡上市長、郡上市医師会長、八幡病院長、郡上市民病院長との間で、郡上南部地域の医療についての懇談会が開催されました。

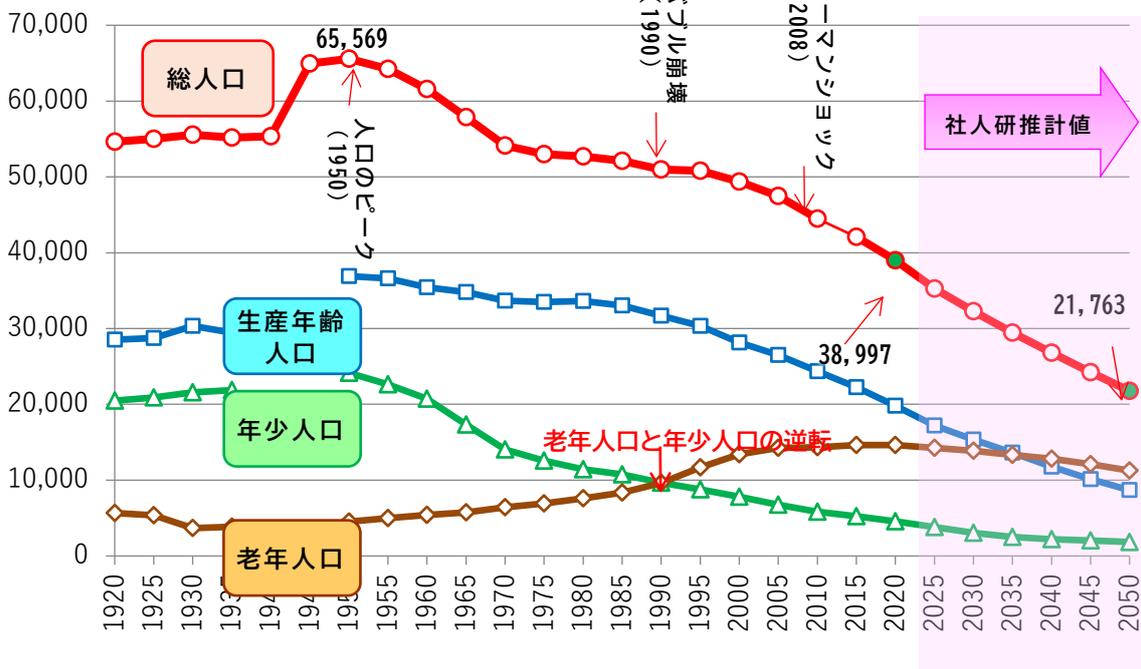
外来・入院患者数の減少、病床利用率の低下、医療スタッフ確保の困難、施設設備の老朽化に伴う更新等それぞれが抱える問題が洗い出され、両院の機能を一部統合し郡上南部地域の医療を継続していくことで合意が得られ、機能統合に向けた調整会議がスタートし、この構想がまとめられました。

## 2. 郡上市の現状と課題

### 1) 人口動態

郡上市の人口は、1950年の65,569人をピークに減少し続けており、直近の2020年国勢調査では38,997人となり、ピーク時に比べ26,572人減少し、約6割まで落ち込んでいる。2020年国勢調査結果を基にした国立社会保障人口問題研究所の推計によれば、2030年には32,273人、2040年には26,786人、2050年には21,763人となり、2050年には2020年に比べて約56%まで減少する結果となっている。

【図表1】総人口と年齢3区分別人口の推移



出典) 総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口

【図表2】年齢3区分別推計人口と割合

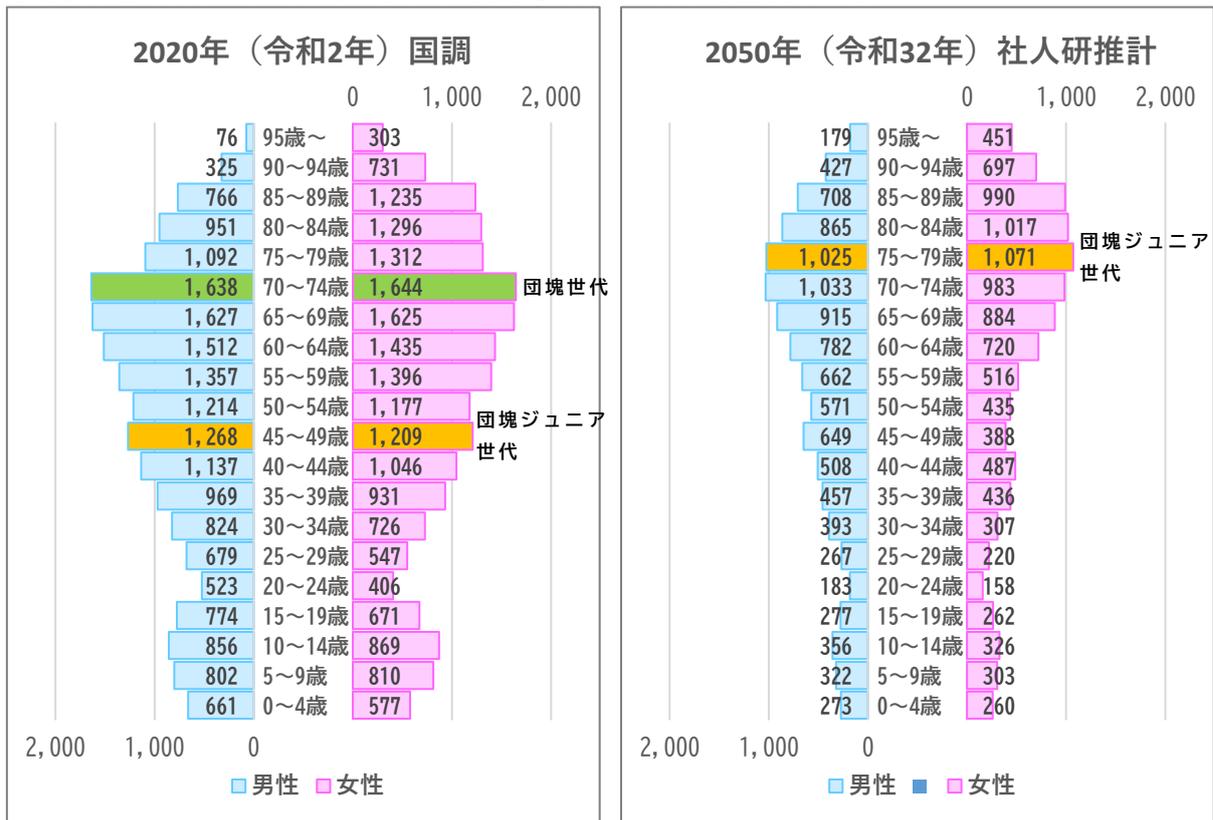
	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)	2050年 (R32)
総人口	38,997	35,283	32,273	29,447	26,786	24,230	21,763
年少人口 (0～14歳)	4,575 11.7%	3,810 10.8%	3,038 9.4%	2,491 8.5%	2,218 8.3%	2,018 8.3%	1,840 8.5%
生産年齢人口 (15～64歳)	19,801 50.8%	17,211 48.8%	15,346 47.6%	13,629 46.3%	11,759 43.9%	10,106 41.7%	8,678 39.9%
老齢人口 (65歳以上)	14,621 37.5%	14,262 40.4%	13,889 43.0%	13,327 45.3%	12,809 47.8%	12,106 50.0%	11,245 51.7%
(再掲) 75歳以上	8,087 20.7%	8,339 23.6%	8,545 26.5%	8,503 28.9%	8,292 31.0%	7,803 32.2%	7,430 34.1%

出典) 総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口

人口構造も大きく変化しており、今後、65歳以上の老年人口は2020年の14,621人をピークに緩やかに減少に転じ、2035年には15～64歳の生産年齢人口を上回り、さらには、2045年に高齢化率が50%に達すると推計されている。

現在、担い手となる生産年齢人口の1.35人で一人の高齢者を支えているが、2050年には0.77人で支えなければならないこととなる。

【図表3】人口ピラミッド（2020年国調人口・2050年推計人口）



出典) 総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口

2020年国勢調査人口と、2050年社人研推計人口を5歳ごとの年齢別に比較すると、0歳から59歳までは5割以上の減少となり、60歳から74歳は3割以上の減少となるなど、年齢が若いほど高い減少率となっている。総人口の減少もさることながら、特に、担い手となる生産年齢人口の減少は、現在でも医師や看護師をはじめとした医療スタッフの担い手不足が続くなか、さらに厳しい状況になることが想定され、市民生活に大きな支障をもたらすことが懸念される。

## 2) 患者の動態

厚生労働省の病床機能報告を見ると、両院の入院患者数は新型コロナウイルスにより大きな影響を受けており、コロナ禍以前と比べてまだ回復途上である。なお、郡上市民病院では、コロナ罹患者対応のため療養病床を閉鎖しており、2023年12月に病床を一部再開するまで約3年間患者がいない状態であった。

【図表4】入院患者延べ数（各年の期間：前年7月1日から当年6月30日）

種別	医療機関	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)
一般病床	市民病院	29,197	29,825	31,083	31,887	30,587	16,448	29,090
	八幡病院	9,442	10,481	9,506	10,218	8,577	8,307	7,553
療養病床	市民病院	14,665	10,710	15,867	12,563	0	0	0
	八幡病院	9,458	8,778	8,263	8,235	8,121	8,289	5,680

出典）厚生労働省「病床機能報告（岐阜県）」

岐阜県の二次医療圏別患者推計（中濃）を見ると、郡上市の患者は、2022年に3,716人となっており、およそ30年後の2050年には2,842人と76.5%になる見込みである。年代別にみると、0～64歳までは50%を割り込み大幅な減少となるが、65歳以上は85.8%、75歳以上にあつては96.7%に止まり、緩やかな減少となる。

疾患別患者推計を見ると、心不全、誤嚥性肺炎、股関節・大腿骨近位の骨折については、2050年頃までは増加傾向であり、脳梗塞、肺炎、腎臓または尿路の感染症については2035年頃までは増加傾向であるが、以後は減少に転じる見込みである。

疾患別患者数を75歳以上の高齢者で見ると、心不全、脳梗塞、誤嚥性肺炎、股関節・大腿骨の近位骨折、腎臓または尿路の感染症は2040年頃まで増加傾向にある。

【図表5】患者推計

	2022年 (R4)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)	2050年 (R32)
総計	3,716	3,621	3,497	3,383	3,250	3,071	2,842
年少人口 (0～14歳)	102	88	72	62	56	51	46
生産年齢人口 (15～64歳)	797	738	665	602	525	448	379
高齢人口 (65歳以上)	2,817	2,795	2,761	2,720	2,669	2,572	2,417
(再掲) 75歳以上	1,950	1,974	2,026	2,055	2,051	1,976	1,886

出典）岐阜県「二次医療圏別患者推計（中濃）」

### 3) 医療機関

#### ①医療機関の状況

郡上市内には私立病院3院、公立病院2院の計5院があり、そのうち私立病院の一つは精神科病院となっている。また、許可病床数は一般が285床、療養が98床、精神が395床の計778床となっている。

このうち救急告示を受けているのが3病院あり、郡上北部地域には国保白鳥病院と鷲見病院の2院、郡上南部地域には郡上市民病院の1院となっており、郡上市民病院は郡上南部地域の総合病院としての役割を果たす重要な医療機関となっている。このほか市内には一般診療所が28施設あり、病院と診療所が連携しながら地域医療を担っている。

【図表6】郡上市内の病院

名称	地域	管理者	開設日	診療科目	許可病床数					救急告示	
					一般	療養	精神	結核	感染症		総数
県北西部地域医療センター国保白鳥病院	白鳥町	郡上市	H16.3.1	内科,循環器科,小児科,外科,整形外科,婦人科,皮膚科,リハビリテーション科,放射線科,消化器内科	46					46	○
郡上市民病院 ※ハキ地医療拠点病院	八幡町	郡上市	H18.5.8	内科,循環器科,小児科,精神科,心療内科,外科,整形外科,脳神経外科,産婦人科,耳鼻いんこう科,泌尿器科,リハビリテーション科,放射線科,麻酔科	100	50				150	○
医療法人新生会八幡病院	八幡町	医療法人新生会	S49.7.15	内科,消化器科,循環器科,小児科,眼科,皮膚科,リハビリテーション科	38					38	
社会医療法人白鳳会鷲見病院	白鳥町	社会医療法人白鳳会	S56.11.1	内科,消化器外科,外科,整形外科,脳神経外科,小児科,眼科,耳鼻いんこう科,肛門外科,リハビリテーション科,麻酔科,消化器内科,救急科,歯科	101	48				149	○
慈恵中央病院	美並町	医療法人春陽会	S31.1.10	精神科,内科,心療内科			395			395	

出典)岐阜県「病院名簿(R6.10.1)」

#### ②医療スタッフの状況

医療スタッフの確保については、郡上市全域で確保が難しい状況であり、看護師の基準配置が確保できず、病床を休床することもある。

定年退職の年齢は引き上げられているが、スタッフの高齢化も進んでおり、特に看護師で夜勤ができる看護師の確保が難しい状況である。

#### 4) 郡上市南部地域の現状と課題

##### ①人口動態

2024年4月1日現在の人口（住民基本台帳）は、八幡町 11,894 人、美並町 3,643 人、明宝 1,415 人、和良町 1,433 人の計 18,385 人となっており、北部地域（白鳥町、大和町、高鷲町）は 19,001 人と、およそ半々となっている。

一方、65歳以上の人口は 7,673 人と、北部地域の 6,793 人と比べて多くなっており、高齢化率も 41.74%と、北部地域の 35.75%と比べて高くなっている。

【図表 7】人口動向（2024年4月1日現在＜住民基本台帳＞）

区分	総数	年齢 区分別 人口				
		0～64 歳	65 歳 以上		75 歳 以上	
			人口	高齢化率	人口	後期 高齢化率
八幡町	11,894	7,053	4,841	40.70%	2,763	23.23%
美並町	3,643	2,155	1,488	40.85%	816	22.40%
明宝	1,415	811	604	42.69%	361	25.51%
和良町	1,433	693	740	51.64%	417	29.10%
南部地域	18,385	10,712	7,673	41.74%	4,357	23.70%
北部地域	19,001	12,218	6,783	35.70%	3,874	20.39%
合計	37,386	22,930	14,456	38.67%	8,231	22.02%

出典）総務省「国勢調査」及び国立社会保障人口問題研究所推計人口

今後の人口動向の見通しについては、国立社会保障人口問題研究所の将来人口推計結果を基に旧7ヶ町村別人口を推計すると、郡上南部地域は 2030 年 16,224 人、2040 年 13,465 人、2050 年には 10,941 人となり、このうち 65 歳以上の人口割合は 50%を超える見込みである。

このように、人口推計から推測すると、患者数の減少は避けられず、また、入院機能を考えても現状の病床数を維持したとしても稼働数はますます悪くなると想定できる。

【図表 8】将来人口の推計

地域名	区分	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2050 年 高齢化率
郡上市	総数	38,997	35,283	32,273	29,447	26,786	24,230	21,763	
	15 歳未満	4,575	3,810	3,038	2,491	2,218	2,018	1,840	
	15～64 歳	19,801	17,211	15,346	13,629	11,759	10,106	8,678	
	65 歳以上	14,621	14,262	13,889	13,327	12,809	12,106	11,245	51.7%

地域名	区分	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2050年 高齢化率
郡上	南部地域	19,604	17,736	16,224	14,803	13,465	12,180	10,941	
八幡町	総数	12,532	11,338	10,371	9,463	8,608	7,787	6,994	
	15歳未満	1,430	1,191	950	779	693	631	575	
	15～64歳	6,231	5,416	4,829	4,289	3,700	3,180	2,731	
	65歳以上	4,872	4,752	4,628	4,441	4,268	4,034	3,747	53.6%
美並町	総数	4,090	3,700	3,385	3,088	2,809	2,541	2,283	
	15歳未満	481	401	319	262	233	212	193	
	15～64歳	1,954	1,699	1,515	1,345	1,161	997	857	
	65歳以上	1,660	1,619	1,577	1,513	1,454	1,374	1,277	55.9%
明宝	総数	1,446	1,308	1,197	1,092	993	898	807	
	15歳未満	146	122	97	79	71	64	59	
	15～64歳	714	621	553	491	424	364	313	
	65歳以上	588	574	559	536	515	487	453	56.1%
和良町	総数	1,536	1,390	1,271	1,160	1,055	954	857	
	15歳未満	124	103	82	68	60	55	50	
	15～64歳	667	580	517	459	396	340	292	
	65歳以上	747	729	710	681	655	619	575	67.1%
郡上	北部地域	19,393	17,546	16,049	14,644	13,321	12,050	10,822	

注) 地域別の推計に当たっては社人研の推計人口に不詳人口を案分したうえで、年齢3区分毎の増減率によって推計している。

## ②医療機関の状況

郡上の南部地域(八幡町、美並町、明宝、和良町)には、八幡病院(私立)と郡上市民病院(公立)、慈恵中央病院(私立の精神科)の3か所、診療所は巡回・訪問診療を含めて12か所ある。

【図表9】郡上南部地域 医療機関

地域	種別	医療機関名	診療科
八幡町	病院	八幡病院	内、消、循、小、眼、皮、リハ
		郡上市民病院	内、循、小、精、心、外、整、脳、産、耳、泌、リハ、放
	診療所	うえむら整形外科	整、リハ、リウ
		おだがき内科・内視鏡クリニック	内、消
		すえたけ眼科クリニック	眼
		杉下医院	内、循
		はやし耳鼻いんこう科	耳
		堀谷医院	内、糖内、皮、リハ、小、外、内分泌
		県北西部地域医療センター 国保小那比診療所	内、総
美並町	病院	慈恵中央病院	精、内、心
	診療所	ばんの内科	内、小、循、消、糖
		ふじわらみなみ診療所	内、小、外、皮
明宝	診療所	明宝医院	内、小、循、消、糖
		県北西部地域医療センター 小川巡回診療	内、総
和良町	診療所	県北西部地域医療センター 国保和良診療所	内、総、小、リハ

出典) 郡上医師会「医療機関一覧」

このうち、八幡町の市街地には2つの病院と6つの診療所があるなど医療機関が集中している。

近年、医療機関を取り巻く状況は年々悪化しており、人件費の高騰やそれに伴う委託費用等の増加、燃料や資材費の高騰などに加え、病院施設の老朽化なども大きな問題となっている。このように費用が年々増加する一方、病院の収益の柱となる診療報酬については、増加に見合った上昇がみられず、全国的に見ても多くの病院は苦しい経営を強いられている。

このため将来的にみて、現状の医療体制を維持することは非常に困難であり、地域医療を確保するためにも、地域医療全体を見据えた医療機関の連携や集約等による効率化が求められる。

### 3. 郡上南部地域の医療再編

#### 1) 背景

2024年3月に「第3期 地域医療を守り育てる郡上市ビジョン」が策定され、「第2章 地域医療確保のための課題と取り組み」「5. 病病連携・病診連携」の「(2) 課題への対応方針」にある、「公立医療機関と市内民間医療機関との役割分担と連携」をテーマとして、郡上南部地域にある八幡病院長（私立）・郡上市民病院長（公立）と郡上医師会長・郡上市長の懇談会が開催された。

この懇談会において、看護師等医療従事者の確保が困難な状況にあることが一番の課題であることが洗い出されたほか、八幡病院においては、常勤医師の確保の課題、建物の老朽化などの課題が共有され、今後、医療連携・役割分担をテーマとして継続して話し合いを持つこととなった。

その後、現在の南部地域の診療所・クリニックの現状や病院の医療提供体制を議論するなか、病院機能の再編成をしていくことが最重要と判断し、入院機能の統合や医療職職員の確保、施設の老朽化の問題を解決し、郡上南部地域の医療提供体制を維持することで両病院が合意し、郡上南部地域医療の一部統合を進めることとなった。

なお、これまでの協議に当たっては、医師派遣元の岐阜大学の第1内科教授をはじめ郡上市民病院に関係する診療科にも情報を共有し、理解を得ている。

#### 2) 両院の概要及び課題

【図表10】八幡病院・郡上市民病院の概要

		八幡病院	郡上市民病院
開設者		医療法人新生会	郡上市
経営形態		同上	地方公営企業法
病床数	一般病床	38床	100床
	療養病床	—	50床
診療科	診療科数	7診療科	14診療科
	内容	内科、消化器内科、循環器内科、小児科、皮膚科、眼科、リハビリ科	内科、循環器内科、小児科、精神科、心療内科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリ科、麻酔科
職員数 ※（）内は 非常勤職員	医師	2（12）	16（31）
	看護師	21（13）	88（31）
	技能職	30（—）	39（6）
	事務職	13（3）	11（5）
	その他	11（9）	2（45）
	計	77（37）	156（118）

		八幡病院	郡上市民病院
概要	沿革	○1925年に坂本医院を開院し2025年には100周年を迎える。一時桜町から肴町へ移り、入院病棟を整備、1955年現在地に医療法人新生会八幡病院を開設。	○1962年6月に郡上医師会立臨床センターとして運営が始まり、1976年10月には郡上広域行政事務組合 郡上中央病院となる。2004年3月の郡上市誕生に伴い、郡上市民病院として運営。
	医師数	○医師は、常勤医師3名、非常勤医師13名により運営してきたが、常勤医師1名が高齢化により退職したことにより、常勤医師数の確保に課題がある。	○医師については、常勤医師16名、非常勤医師31名により運営。
	診療科	○診療科としては、内科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科を運営。	○診療科は、内科、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻科、脳神経外科、麻酔科、人工透析科、リハビリテーション科を標榜しており、頭頸部腫瘍外来、心臓血管外科などを運営。
	病床等	○入院は、地域一般病棟で看護配置は15対1の病床を38床で運営。 ○2024年度の病床利用率は、71.9%である。	○入院は、一般急性期10対1を2病棟計100床。慢性期病床20対1の看護配置により50床で運営。 ○2024年度の病床利用率は75.5%であり、新型コロナウイルス感染症以降、低くなっており回復の見込みは立っていない。
	看護師	○看護師の確保に苦慮しており、施設基準をクリアするため病床を一部削減。また、看護師の年齢も高く60歳以上の看護師も多く、夜勤勤務の配置に苦慮。	○看護師の確保に苦慮しており、施設基準をクリアするため病床を一部休床している。また、夜勤勤務の配置に苦慮している。
	デイ・訪問介護等	○介護支援センターの運営により、訪問リハビリを提供。また、別棟で、デイケアセンターなごみを運営し、自立支援のサービスを提供。 ○老人福祉施設「せせらぎ緑風苑」の施設医を受持つ。	○みなし看護ステーションとして、当院を退院し在宅療養を希望する患者に、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリを提供している。入院機能統合に合わせ、在宅事業についても連携強化を進めたい
	施設	○建築後50年が経過し老朽化が進み、耐震診断ができていない状況。 ○設備も老朽化が進んでいる。	○建築後18年が経過し、建物については、今後大規模改修等が必要となる。 ○設備は老朽化が進んでおり更新が必要となる。
	その他	○病床一部削減後、病床利用率は改善したものの、外来患者数は減少傾向にあり、人件費や光熱費、食材費などの物価高騰により財政状況は厳しさを増している。	○外来においても、新型コロナウイルス感染症まん延期に、慢性疾患の方に対し長期処方による、受診機会の軽減を図ったことが影響し、外来患者数の回復が難しい状況である。 ○経営状態としては、人件費比率、材料費比率、経費比率が高めであり、医業収益とのバランスは悪い。

### 3) 課題解決の方向性

岐阜県地域医療構想の第4章「中濃圏域における地域医療構想」に掲げられた将来における入院患者数、必要病床数、在宅医療等の医療需要量を受け、郡上南部地域の病床数の適正化について、課題ととらえ懇談会に臨んだ。

2024年8月の郡上市長、郡上医師会長、両病院の院長による懇談会を機に両院の問題解決に向けて協力していくことを確認し、財政的、運営的な部分も含めて毎月1回程度の会議を開催することとした。この中で、課題解決に向かうための方向性として、入院機能の統合により、財政面と看護師確保の課題を解決することで意見統一を図ることとし、以下の事項を基本として進めることとした。

- 入院機能を統合することにより、医療スタッフの確保、予想される空床による運営への影響の回避。
- 建物の老朽化、耐震診断によるコストの削減。
- 双方の経営改善に向け医療から介護分野で連携の強化。
- 両院の機能統合にあたり、重点支援区域の承認を得ることを前提とする。
- 八幡病院は無床診療所として継続する。
- 2025年度末の機能統合を目指す。
- 国・県の支援を受けながらより良い統合となることを目指す。

### 4) 機能統合に向けて

#### ①病床機能の統合

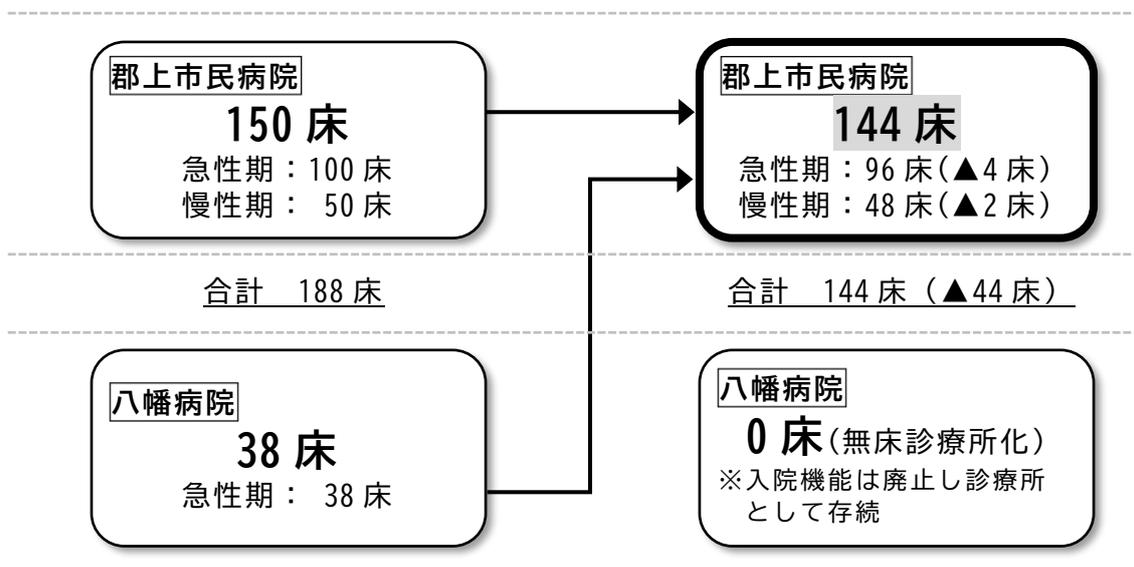
高齢化社会や地域の人口動態の変化により、患者数の減少はもとより、医療スタッフの不足に伴う病床の稼働が制限されるなど入院機能の維持が困難になりつつあることから、入院機能の統合を目指し、医療スタッフの集約に努めるものとする。

両院の許可病床は八幡病院38床、郡上市民病院150床の計188床となる。このうち、八幡病院の38床を廃止して無床診療所としたうえで、市民病院に入院機能を統合する。現在、郡上市民病院は許可病床150床のうち116床しか稼働しておらず、残りの34床（急性期4床・慢性期30床）は休床としている。

このため、今回の病床機能の統合に当たり、郡上市民病院としては遊休施設の有効活用を図りつつ、スケールメリットを生かした効率化による収益の改善と図ることとなる。一方、八幡病院においては、入院機能をすべて郡上市民病院に統合することにより診療所として運営することとしている。これにより人件費、材料費、経費、医療設備費等が大きく削減でき、経営改善を図ることができる。

なお、機能統合先となる郡上市民病院において、大量の患者を現在の人員で受け入れることは困難であり、看護師や介護スタッフをはじめとした医療スタッフの確保が欠かせない。このため、病床統合に当たっては現在のスタッフの一部受け入れを前提に今後、待遇など詳細について協議を行うものとする。

【図表 1 1】病床再編の方向性



②病床機能再編支援事業の採択

病院機能統合に当たり、事業を円滑に進めるための技術的または財政的支援が欠かせないことから、厚生労働省の病床機能再編支援事業（地域医療介護総合確保基金）の採択を受けて事業推進を図るものとする。

【図表 1 2】病床機能再編支援事業の概要

支援策区分	支援内容	市民病院	八幡病院
I-1 医療機関の施設又は設備の整備	A 再編統合に伴い必要となる施設・設備整備費	○	
	B 再編統合と一体的に行う宿舍・院内保育所の施設整備費	○	
	C 急性期病床から回復期病床等への転換に要する建設費用	○	
	D 不要となる建物（病棟・病室等）・医療機器の処分（廃棄、解体又は売却）に係る損失		○
	E 早期退職制度の活用により上積みされた退職金の割増相当額		○
I-2 病床の機能又は病床数の変更	①「単独医療機関」の取組に対する財政支援 ※病床数の減少を伴う病床機能再編をした医療機関に対し、減少する病床数に応じた支援		○
	②「複数医療機関」の取組に対する財政支援  (ア) 統合に伴い病床数を減少する場合のコストに充当するための支援 ※関係医療機関全体へ支給し、配分は関係医療機関間で調整 ※重点支援区域に指定された関係医療機関については一層手厚く支援 (イ) 統合に伴って引き継がれる残債を、より長期の債務に借り換える際の利払い費の支援 ※①②ともに稼働病床の10%以上減少することが条件	○	○

支援要件	当該性	備考
①統合計画について、地域医療構想調整会議の議論の内容及び都道府県医療審議会の意見を踏まえ、都道府県が地域医療構想の実現に向けて必要な取組であると認めたものであること。	○	・中濃圏域地域医療等調整会議に提案
②統合関係医療機関のうち1以上の病院が廃止（有床診療所化又は無床診療所化も含む。）となること。	○	・1院は無床診療所化
③統合後、統合関係医療機関のうち1以上の医療機関が運営されていること。	○	・2院とも医療機関として運営
④2026年3月31日までに統合が完了する計画であり、すべての統合関係医療機関が計画に合意していること。	○	・2026年2月までに統合予定 ・両院は合意済
⑤統合関係医療機関の対象3区分の総病床数が10%以上減少すること。	○	・188床⇒144床 ▲44床 23.4%減少

### ③重点支援区域の選定

地域医療構想の実現に向けた重点支援区域に選定されると、医療機能の再編等を検討するための医療機関に関するデータ分析などの技術的支援と地域医療介護総合確保基金の優先配分や病床機能の再編支援を手厚く受けられることができる（1.5倍の加算）などの財政的支援を国から受けられることができるため、「重点支援区域」の選定を受けられるための申請を行うこととする。

なお、「重点支援区域」として認定を受けたのちは、統合の具体的な期日を決定し、受入医療スタッフのスムーズな業務移行ができるよう、交流事業を行っていくこととしている。

#### ○八幡病院

- ・38床の病床を全廃止し、入院機能を郡上市民病院に集約する。
- ・入院中の患者については、老人福祉施設せせらぎ緑風苑や郡上市民病院を受け入れ先とする。
- ・外来については、診療所となり現在の診療科で運営する。（現在地）
- ・入院機能の統合により余剰となる医療スタッフについては、郡上市民病院の医療スタッフ不足を解消するために、老人福祉施設せせらぎ緑風苑を含めて移職（転職）を勧める。
- ・デイケアセンターなごみについては、引続き運営を継続し郡上市民病院の訪問看護事業、老人福祉施設せせらぎ緑風苑との連携強化を図る。

## ○郡上市民病院

- ・一般病床4床、療養病床2床を削減し、一般急性期病床96床、療養病床48床で運営する。ただし、2040年、2050年の疾患別患者推計を参考に病床機能の変更も検討する
- ・入院機能の統合、八幡病院の患者を受け入れることに伴う、医療スタッフの不足については、八幡病院で余剰となる医療スタッフを受け入れることで補充する。
- ・外来機能については、現在の診療科を維持するが、八幡病院の消化器内科との連携を強化していく。
- ・訪問看護事業については、八幡病院のデイケアセンターなごみ、せせらぎ緑風苑が行う訪問看護・訪問介護事業との連携強化を図る。
- ・八幡病院から異動する医療スタッフのスムーズな移行を図るため、事前交流等を開催する。

## ④経営の改善

今回の病床機能統合に当たり、両院の経営改善を目指していくことも目的の一つとしており、郡上南部地域の病床数を適正化することで、郡上市民病院は入院収益の増収を目指す。八幡病院は入院機能をなくすことにより、人件費、材料費、経費等を削減し、経営改善を図り郡上南部地域の入院医療を確保する。

八幡病院が運営する「デイケアセンターなごみ」、郡上市民病院が運営する「訪問看護事業」においても連携もしくは統合も視野に入れ検討を進めながら、老人福祉施設せせらぎ緑風苑との連携を強化する。（老人福祉施設せせらぎ緑風苑と郡上市民病院との間で協力医療機関協定書を締結している）

外来機能においては、八幡病院は現在の診療科を維持し診療所として存続するが、消化器内科系の患者については、郡上市民病院の消化器外科系医師との連携も含め、外来から入院までを郡上南部地域で完結できる体制を構築する。循環器内科系患者については、現在構築されている関係を維持向上させる。

2040年、2050年の推計人口、疾患別患者推計を参考として、今後も継続して病棟機能の変更を検討していく。

## 5) ロードマップ

今回の2院の病床機能の統合に当たっては、これまで各院の経営会議等で検討・検証を行ったうえで、両院の関係者による「郡上南部地域医療検討会議」を立ち上げ、定期的に協議を行ってきている。

今後も郡上医師会や県医師会の合意形成のほか、中濃圏域地域医療構想等調整会議において病床の機能統合を行うための重点支援地域の指定に向けた協議を図るなど、スピード感をもって2026年2月までの完了を目指す一方、患者をはじめとした関係

者への説明・周知に当たっては両院が真摯に取り組むとともに、そのほか市民、関係者、市議会等への周知や協議についても適宜行うものとする。

【図表 1 3】今後の作業工程（ロードマップ）

	2024 年度			2025 年度		
	4 月	9 月	3 月	4 月	9 月	3 月
2 病院定例協議（月 1 回程度）	⇒⇒⇒⇒⇒⇒	⇒⇒⇒⇒⇒⇒		⇒⇒⇒⇒⇒⇒	⇒⇒⇒⇒⇒⇒	
郡上医師会との協議	(8 月懇会)					
郡上医師会の同意		(12/4)				
岐阜県医師会の同意		(12 月末)				
岐阜県との協議		(9 月以降)				
中濃圏域地域医療構想等調整会議		(2/7)⇒				
郡上市地域医療確保検討会		(3/6)⇒				
重点支援区域選定				(6 月頃)⇒		
ホームページ等市民周知		(3 月下旬)⇒		⇒⇒随時公表	⇒⇒⇒⇒⇒⇒	
協議（診療体制、雇用、機器等）				(6 月)⇒⇒	⇒⇒⇒⇒⇒⇒	
受入環境・体制整備				(6 月)⇒⇒	⇒⇒⇒⇒⇒⇒	
統合先施設一部改修、整理等				(9 月)	⇒⇒⇒⇒	
一部医療機器等統合先移設					(1 月)⇒	
統合先へ患者移送					(2 月)⇒	
雇用個別協議				(9 月)	⇒⇒⇒⇒⇒⇒	